

製品安全データシート

作成・改定 2011年10月2日

【1. 製造者情報】

会社名：株式会社 鳥取再資源化研究所

住所：鳥取県東伯郡北栄町東園 583

担当部門：取締役 山下 道洋

緊急連絡先：工場 TEL:0858-49-6230 FAX:0858-49-6288

【2. 化学物質の名称(製品名)】

ガラス発泡骨材(POROUS-)

【3. 物質の特定】

化学名：ソーダ石灰ガラス

化学式または構造式：特定の化学式及び構造式はない(非結晶質)

単一成分・混合物の区別：単一成分

成分構成(以下の混合成分)

| | |
|--------------------------------|--------|
| SiO ₂ | 62.0 % |
| Na ₂ O | 8.6 % |
| CaO | 24.7 % |
| Al ₂ O ₃ | 1.7 % |
| K ₂ O | 2.0 % |
| Fe ₂ O ₃ | 1.0 % |

上記表中成分を以って全体量の約99%以上となる。その他微量元素として、Ti、Cr、Mn、Ni、S等を含む。

化審法公示番号：該当なし(既存化学物質、新規告示物質(2002年)に記載なし)

安衛法公示番号：該当なし

CAS No.: 該当なし

(Chemical Abstract Service の略称)

【4. 危険・有害性の分類】

分類の名称:分類基準に該当しない

危険性:燃焼しない、消火活動に水を使用してもよい

有害性:飛散して大量吸入した場合、肺に沈着する可能性があるが、即発性の症状は発生しない

環境影響:土壌の汚染に係る環境基準値以下であり、土壌として還元できる

【5. 応急措置】

目に入った場合:直ちに多量の水で洗い流す。異物感がある場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:付着部又は接触部を水で洗い流す。

吸入した場合:新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかみ、水でうがいをする。

多量の場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:多量の水又は食塩水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。

【6. 火災時の措置】

消火法:燃焼しないが高温で軟化する。

軟化時に放水すると水蒸気が発生するが、大量の放水では問題はない

消火剤:燃焼しない。消火剤とは化学反応はしない

【7. 応急措置】

ほうきや真空掃除機で回収する

【8. 取り扱い及び保管上の注意】

取 扱 い： 破袋防止のため、製品を投げ積みしないこと。

荷崩れ防止のため積み重ねは丁寧に行うこと。

保 管： 屋内での保管が望ましい。

【9. 暴露防止措置】

許容濃度：日本産業衛生学会勧告値(2003)：吸入性粉塵：2mg / m³

：総粉塵： 8mg / m³

(第3種粉塵：石灰石、その他の無機及び有機粉塵)

ACGIH(TLVs)-TWA：上記と同じ

(The American Conference of Governmental Industrial Hygienists,
Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agent (Biological
Exposure Indices) 、Time-weighted Average の略称)

設 備 対 策： 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を付ける。

保 護 具： 防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、作業服、作業帽、作業靴

【10. 物理・化学的性質】

外 観 等： ほぼ無色、製品で異なるが薄い茶

臭 気： 絶乾状態においては無臭、濡れた場合も無臭

真 密 度： 約 2.5 g / cm³

嵩 密 度： 0.5 ~ 1.1 g / cm³ (粒度により変動)

粒 形 状： 部分的に角のある不定形体

p H： 水に浸漬するとpH10.3(最大値)、水の交換を繰り返すと低下し中性(pH7)となる

溶 解 度： なし

軟化温度： 720 ~ 730 (分解しない)

揮 発 性： なし

【11. 危険性情報】

引 火 点： 適用しない

可 燃 性： 適用しない

発 火 性： 適用しない

酸 化 性： なし

自己反応性： 爆発性： なし

粉塵爆発性： なし

安 定 性： 化学変化なし(ガラス質)

反 応 性： なし

【12. 環境影響情報】

PRTR対象物質の使用及び含有はない。

【13. 廃棄上の注意】

通常は土砂に混ぜて土壌改良材、埋立材として利用、又は一般不燃産業廃棄物として扱う。

【14. 輸送上の注意】

破袋に注意

【15. 適用法令】

労働安全衛生法(じん肺法・粉じん障害防止規則)に該当しない。本製品は本法に準じた取り扱いが望ましい。

このデータは作成の時点における知見によるもので、必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。